

ショウガクロバネキノコバエ



成虫



幼虫による被害



幼虫

- 幼虫は腐朽植物、動物の排せつ物、菌類を摂食するので、発生はいたるところでみられる。
- 貯蔵庫（横穴式）では、しょうがの有無にかかわらず周年発生している。
- しょうがの貯蔵期間中は30～45日間隔で世代を繰り返しており、2～3世代を経過すると考えられる。

ヒメガガンボ



ヒメガガンボの一種 (成虫)



ヒメガガンボの一種 (幼虫)



被害塊茎

- 産卵は地上部に露出している萌芽部に行われる。ふ化幼虫は塊茎内部に食入し、肉質部を食害して发育する。
- 発生は主に貯蔵庫内でみられるが、発生源は収穫した塊茎とともに持ち込まれる卵、幼虫である。